



ガクアジサイ@万博公園

大阪教職員組合 事務職員部報

Vol 659 2014.6.30 発行 大阪教職員組合事務職員部常任委員会
大阪市天王寺区東高津 7-11 大阪府教育会館 7階
No.3 【定例号】 Tel. 06-6768-2330 Fax 06-6768-2239

<当面の日程>

- 7.4(金) 集まれ☆若手JIMU職員のか
(たかつガーデン コスモスB)
- 8.2(土)~4(月)
全国学校事務研究集会 (高知)
- 8.19 (火) 大教組夏期学校選択講座
(たかつガーデン)

第七〇回 定期大会 憲法を守り、さらなる運動をすすめてゆけ!

六月五日、大教組事務職員部は定期大会を開催しました。今年の運動方針とスローガン、当面のとりくみを決定しました。

冒頭あいさつに立った部長は、地方教育行政法改悪の動きにふれ、安部総理のねらいは「戦争する国づくり」「世界で一番企業が活躍しやすい国づくり」であり、今回の改悪はこうした国づくりを担う人材の育成をすすめるために教育の支配を強めようとするもので断じて容認できるものではないと述べました。また、第七〇回という節目の大会であり今までの事務職員部運動を振り返るとともに、これからも子ども・保護者の視点に立った運動を築いていこうと締めくくりました。

大教組副委員長からは①弱者に厳しく、大企業には優遇する。残業代ゼロなどの労働法改悪、教育を政治の道具にする安倍政権にストップをかける②大阪府民の暮らしを壊す橋下「維新の会」にノーの声を突きつける③何でも相談できる民主的な



職場づくりを全ての職場で話していたきました。事務局長から、二級・三級滞留問題など私たちの生活を守る運動や現在の格差貧困の解消から子どもたちを守ることを、事務職員部の強化拡大を中心に当面のとりくみを含めて運動方針の提案がありました。

討論では、多くの代議員が討論に立ち、府下各地の状況、単組・ブロックのとりくみの発言がされました。

▼門真 青年に事務だよりなど自分の実践の資料を送ってあげるようになると相談してくれるようになった。組合が青年の思いや悩みに

▼柏原 中学校給食がスタート。市教委交渉などあらゆる場面で未納の対応を含め、諸問題を訴えた。その結果、支払いは未納分を差し引いて支払えばよいという形になった。



▼大阪市

今年度より給食費が公会計化となった。十分な検討もまま見切発車。学校の負担軽減は直接お金を触らなくなっただけで、口座振替依頼書の事務や督促事務は負担増となっている。また、「がんばる校長予算」で一部の学校に四〇万円予算がつき、一般の需用費は一律五%ばつさりカットなど学校間格差を生む事態となっている。

▼吹田

学校納入金振替事務をすると、改めて大きな金額を集金している。無償」と書かれているのに、学校の都合で銀行振替しているのに手数料も保護者負担となっている。教育は無償でなければならぬ。

▼府高教

四月より授業料無償化廃止に伴う「就学支援金」事務がスタート。しかし、導入を急ぎ、制度が理解されず「申請しない」という保護

第2回 集まれ☆若手JIMU職員のか

7月4日(金)18時45分~
たかつガーデン コスモスB

●学習会
「夏休みの過ごし方~先輩からのアドバイス~」
講師：大教組事務職員部副部長

子どもたちがいない夏休み。そんな時だからこそやっておきたい仕事や休暇のことなどまとめて聞きましょう。
きっと素敵な夏休みを送れること間違いなしです!

●毎回好評の交流会も行います。
参加は組合員、未組合員を問いません。
臨時主事の方の参加も大歓迎です。
連絡先：各市町村の大阪教職員組合・事務職員部

▼堺 臨時主事から採用試験に合格することが出来た。年齢制限が低くて当初受験出来なかったが、組合の運動により年齢制限が引き上げられた。また、組合の仲間が採用試験の情報などを集めてくれて感謝している。初任者研修は一年で終わってしまう。つながりや情報を得るためにもみんなに組合加入してほしい。

2015年度政府予算にむけた 文部科学省概算要求に対する署名

事務職員の労働条件改善と、
無償教育の前進を結んでとりくみましょう!
締め切りは7月22日です
提出は大教組書記局まで

者へのきめ細やかな個別の対応に追われた。さらに、授業料滞納者に「延滞金」もかかることが判明。利率は高い部分でサラ金並み。生徒・保護者と最前線で向き合い、現実を目の当たりにしている私たち事務職員に求められていることは大きい。

事務局長は、学校納入金を集めること・振替手数料などは地教委に責任があり、未納対策が私たちの仕事ではない。無償教育をすすめる運動に全力をあげましょう。また、若手の会に参加者を集め、組織拡大へつなげましょうと討論をまとめました。

採決では、運動方針案・スローガンともに全会一致で可決されました。

また、「大会宣言」と特別決議「安倍『教育再生』STOP! 憲法を守り、いかして子どもたちの成長・発達を支える教育を」を満場一致で採択しました。



賃金カット中止・評価システム廃止に向け怒りの声！

府労組連夏季闘争 最終回答

府労組連は六月二十日、第三回団体交渉に臨みました。交渉では職場の切実な声を訴え、今年度も継続している賃金カットの即時中止、評価育成システム賃金リンク廃止、行政職二級三級滞留問題など夏季要求実現を強く迫りました。しかし、総務部長は賃金カットについて「職員みなさんにご負担をおかけしており大変心苦しく思っている」と私たちの要求に一定理解を示すものの具体的な改善には何ら言及することなく不誠実な回答に終始しました。



また、二級・三級の最高号給に多くの職員が滞留している問題については「滞留は認識しているが、現時点において給与上の措置を講ずることは困難」と答える一方で、「職員のモチベーションを確保することは重要であると認識」と回答、職員・教職員の長時間労働が深刻化している問題については「適正な業務管理と職員の健康管理の観点から時間外勤務の縮減、教職員の業務負担軽減について引き続き取り組む」との従来の回答に加え、「労働基準法三十六条の趣旨も踏まえ取り組み」とし、労働基準法にもとづき時間外労働を削減する意向を示しました。

「夏のボーナス増加」「中小企業六割が賃上げ」など賃上げの動きは確実に広がっています。賃上げは大阪経済の活性化に不可欠であり、賃上げの流れを確かなものにするため府当局の責任は重大です。賃金カットについても2月府議会でも松井知事は「(府財政の)危機的状況は脱した」と発言しており、カットを続ける道理も根拠もありません。

府職員・教職員の賃金改善にとりくむことが、民間賃金や府民のくらしを底上げする重要なきっかけとなりま

す。府労組連は、八月に予定される人事院勧告、十月の府人事委員会勧告に向けてとりくみを強化します。全ての労働者と力をあわせて全力で奮闘しましょう。

府職員・教職員の賃金改善にとりくむことが、民間賃金や府民のくらしを底上げする重要なきっかけとなりま

す。府労組連は、八月に予定される人事院勧告、十月の府人事委員会勧告に向けてとりくみを強化します。全ての労働者と力をあわせて全力で奮闘しましょう。

～単組・ブロックでのとくみから～

大阪市教定期大会 6/7

6月7日、大阪市教事務職員部は定期大会を開催しました。数年前より、要求実現に向けて、組合員一人ひとりの要求を持ち寄って交流ができる大会運営をめざしています。

参加者からは、給食費の公会計化の事務処理が徴収金と二重になって煩雑なこと。「がんばる先生予算」や「校長戦略予算」による学校間格差が生まれている問題や学校間連携、児童生徒用机イスの購入など身近なことについて交流しました。

また、定期大会をより組合員の要求を反映する機関会議として開催するために、大会を総会に改めて全組合員が集える機関会議に改正しました。

2017年度の府費負担教職員給与の政令市委譲については、動向を注視していくとともに、高校や特別支援学校の組合員との交流を特にすすめていくことを参加者で確認できました。

最後になりましたが、大会にも参加していただいた中で組合員が増えたことを力に今後もとくみをすすめていく所存です。



堺教組 事務職員部総会 6/26

6月26日、第40回堺教組事務職員部定期総会を開催しました。三役を若手にバトンタッチし、節目を迎えた今回の総会は青年の参加も多く、例年を超える多数の参加者となりました。

討論では、先日加入した新規採用者からのフレッシュな発言、支援学校の過重労働の実態を訴え交渉し、市単費の臨時主事を配置させた報告、ベテランが青年を支えさらに事務職員部運動をすすめていくことが大切だという意見が出されました。

経過報告ならびに運動方針案は全会一致で採択されました。



夏！充電

大教組夏期学校

日時 八月十九日(火) 十三時半～
場所 たかつガーデン
参加費 五百円

選択講座(事務職員部担当)
「大阪市における生活保護の動向」と調査団活動の結果明らかに
なったこと」
講師・普門大輔さん
(弁護士・大阪市生活保護行政問題
全国調査団実行委員会事務局長)

生活保護について、生活状況を無視した就労指導や扶養義務の強要など違法な行政対応が問題になっている大阪市。講師の普門さんは大阪市の生活保護行政の実態を明らかにする全国調査を行い、大阪市役所・区役所と交渉などを行う活動をされています。

全国調査結果・生活保護受給者から寄せられる相談から見えてくる家庭の状況、また子どもたちに及ぼす影響

全国学校事務研究集会 高知集会

8月2日(土)～4日(月)

高知県高知市 土佐御苑 にて開催！

参加の申し込み忘れはありませんか？

一緒に学習を深めましょう！

申込希望の方は早急に大教組事務職員部まで

ご連絡ください。



とは。「生存権」をおびやかす状況に対してどのような運動をすすめていくのかなどをお話いただきます。

夏休み中の学習機会としてぜひご予定ください！
申込は、各単組事務職員部まで

日進月歩

安倍総理は、中国や北朝鮮の動きに対して、恐怖心を煽って国民を操り、集団的自衛権の必要性を説く▼戦争は、地震や津波のように突然「やってくる」ものではなく、人間が作り出すものである。それを国民は地震や津波と同じように考え、「やってきたら」と怖れる。その心理に付け込み、「戦争が起こったら」：国民の生命を守る」とやたら繰り返し、国民の支持を得ようとする▼何かが違うのではないか。いつくるかわからない天変地異から国民の生命を守るためにとは理解できる。しかし、戦争は人間が積み重ねた論理と構造によって引き起こされるものであり、まず原因を究明し、回避する方法は何かないかと考えるものである。それが政治家の仕事ではないだろうか▼同盟国であるアメリカは自国の利益になれば助けるが、利益にならないければ助けない。当たり前の論理である。今日までアメリカは、中国と北朝鮮を利用し、日本に恐怖を与えよう仕組んできた。中国とは戦略的パートナーシップを結び、一方で北朝鮮のミサイル発射を利用して日本に兵器を売りつけてきた。日米同盟強化もアメリカの利益になるからである。ところが、中国経済が急成長して日本を追い抜くとアメリカは中国バッシングを始め、今度は日本が利用されようとしている。アメリカの手のひらで転がされているのは、今も変わっていない▼日本のめざす道は集団的自衛権ではなく、アメリカ依存の政治から脱却するの